

SNSで堂上蜂屋柿を発信

加茂農林高生が活動発表



課題研究の成果を発表する生徒＝美濃加茂市
蜂屋町、市文化の森

生産農家の現状を研究

美濃加茂市の特産品「堂上蜂屋柿」生産農家について課題研究している同市本郷町の加茂農林高校の食品科学科の1、2年生3人が、同市蜂屋町の市文化の森でこれまでの研究成果を発表した。

(佐竹直人)

3人は生産農家を取り巻く現状などを研究。材しながら農家を取りツイッター(SNS)

を使った同柿のPRなどにも取り組んでおり、これまでの活動を関係者や市民を前に報告した。

生徒は同柿を世界に発信するため、ツイッターで同柿の魅力や生産者の苦勞などを更新していることを発表。

「後継者不足に悩んでいる現状が分かっている。生産をどう維持していくか、今後の課題として考えていきたい」と語った。

発表後、参加者で市内の生産農家を見学し、情報交換会などを行った。